

令和元年度 第1回射水市男女共同参画審議会	
日 時	令和元年11月11日(月) 午前10時から午前11時15分まで
場 所	射水市役所 301会議室
出席者	委員：上田委員、竹内委員、辻井会長、中島委員、堀川委員、松尾委員、山口委員、山崎(京)副会長、山崎(良)委員、山本委員、米田委員(50音順) 事務局：市民生活部長、市民生活部次長、地域振興・文化課長、地域振興・文化課長補佐兼協働・男女参画係長、同係主任
欠席者	佐々木委員、砂原委員
会議形態	公開
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 委嘱状交付 4 交代委員及び事務局の紹介 5 議事 (1) 正副会長の選任について (2) 平成30年度男女共同参画の推進に関する年次報告について (3) 射水市女性人材リストについて 6 その他 7 閉会
内 容	(1) 平成30年度男女共同参画の推進に関する年次報告について <u>主な質疑・意見</u> 委員：ファミリーサポートセンターの依頼会員が急増しているが、現在の協力会員数で足りているのか。 市：担当課に確認し、改めてお知らせする。 <u>→協力会員は不足傾向であり、会員数増加に向けた広報等の取組を実施しているとのこと。</u> 委員：市役所の管理職への女性の登用が少ない状況である。 市：現状では課長級以上の女性比率は低いが、課長補佐級・係長級の女性比率は増えてきており、今後は課長級以上の比率も増えていくものと考えられる。 委員：「もうすぐパパ・ママ教室」の男性参加者は把握しているか。 市：担当課に確認し、改めてお知らせする。 <u>→参加146組、男性参加者は144人であった。</u> 委員：市役所職員の育児休業取得率は女性100%となっているが、その後の復帰率も100%なのか。 市：ほとんどが復帰されているものと思う。また、時短勤務の制度を活用する職員も増えている。 委員：市が見本となり、民間事業者に対しても啓発していけばよい。 委員：男性職員の育児休業取得も増えるとよい。 委員：ジェンダー、男女の役割意識は子どもの頃に植えつけられる。多様な性があり、ジェンダーを植え付けないようにする取組が必要であり、その一つが学校の混合名簿であると思う。 委員：かつてはランドセルの色も「赤は女の子」という潜在意識があったが、意識改革を呼び掛けていくことも大切である。

(2) 射水市女性人材リストについて

主な質疑・意見

委員：女性人材リストは他薦でもよいのか。

市：登録申込書に本人の署名欄があるため、本人が承諾した上で登録していただくこととなる。

委員：年齢に上限はあるか。

市：上限はなく、20歳以上であれば登録できる。

委員：登録された方は「何か協力したい」という気持ちがあるはずなので、リストを積極的に活用できるとよい。

概要版